

# 口腔顎顔面矯正学分野 特別講演のお知らせ

## 当科における歯科矯正用アンカースクリュー を用いた治療の現状と展望

**日 時** : 2014年9月10日(水)16:00~

**場 所** : 大塚講堂 2F 小ホール

**演 者** : **宮澤 健 先生**

愛知学院大学歯学部歯科矯正学講座  
成人矯正歯科特殊診療科 教授

## 講演抄録

現在、臨床現場において、外科的矯正治療の適応とするか否かは、いわゆる「矯正歯科治療単独で改善できる程度であるか否か」を判断要素の1つにしていると思われます。その矯正歯科治療の限界として、これまでに最も困難な治療であったのが「大臼歯の圧下」でありました。事実、110年以上の歴史を持つ近代矯正歯科治療法においても確実な大臼歯の圧下は達成されなかったのです。従って、大臼歯の高位による開咬や、ガミースマイルの治療は困難を極め、これらの治療のために大臼歯の垂直的位置を改善させる方法として、馬蹄形骨切り術等による外科的矯正治療が最善の方法でした。

2012年7月、歯科矯正用アンカースクリューが正式に認可され、矯正歯科臨床に使用可能となりました。この絶対的固定源を利用することによって、これまで不可能であった大臼歯の圧下が可能となり、矯正歯科治療単独でもきわめて高い治療結果を得ることができるようになりました。

そこで今回は、私どもが行っている歯科矯正用アンカースクリューを用いた矯正歯科治療について、その現状と展望を、私信を交え述べさせていただきます。次世代を担う若い先生方から、忌憚のないご意見を賜れば幸いです。

尚、本特別講演は口腔科学教育部大学院講義を兼ねていますので、大学院生の御来聴を歓迎致します。

**連絡先** : **口腔顎顔面矯正学分野**      **田中 栄二**

(088-633-7357 内線5291)

etanaka@tokushima-u.ac.jp